

青鶴 ヤマバト筑後 アヲバト京 シマバト備前

日向バト 一名黄鶴候通雅

青鳩州大志倉

橄欖雛新語

市中ニ來ラズ、常ニ山中ニ棲ム、形狀鶴ノ如ニシテ大ナリ、全身綠色ニシテ黒ヲ帶、胸ハ微黃ニシテ綠色ノ班毛アリ、腹ハ白色ニシテ綠文アリ、觜ハ蒼色、翼尾共ニ黒ク、脚ハ紅色ナリ、

〔百千鳥上〕金鳩綾鳩とも

餌かい キビ、黒米、ゑごまみで用ゆ

大きさ白子鳩に少し大きく、鳥の風總たひみじかく太し、頭淺黃鼠に白き眉有、雄は肩に白き毛少し計有、背の色青光に金色あり、胸より腹までみなむらさきにて、觜朱のごとく、足は白子鳩に同色也、尾こい鼠色にて甚短し、巢もなす物なり、雌は總體色あしく白き眉、頭の淺黃も少しむね腹茶色にて少し紫の心持有、見事成物也、玉子は十六七日の内に開る、鳩の類の玉子は何も二ツ充產物也、

長莊鳩。

餌かい キビ、ゑごま

長莊鳩は文字いろくに書、大きさ銀鳩の半分より餘程ちいさく、毛色鼠に赤みあり、羽子毎に薄黒きふ有、能キ子そだての鳥少き物なり、子は二ツ充能開す物なれども、兎角捨て又外に巣をなす、盛り至て強ゆへなり、若鳥は玉子の生よわく、其上巣も猶捨る物にて、とかく古鳥程よく出来る也、此秘事は跡に書印ごとし、二月頃より九月まで巣にかけ、夫よりは寒き故、子育ツ事なし、雌雄わけおくべし、

銀鳩。 飼かい 右同斷

大きさ白子に同じ、總身至て白く奇麗にて、觜薄桃色に足赤し、能子出來る物なり、子上りに煩ひ有、跡に書あるすとく手入有、よき銀鳩の筋は今少し、鳥至てちいさく、首に輪の心持なく白し、兎角ゑりに珠數かけの心有り、又白子に合たるは、薄がき色に珠數毛有ものなり、あし、子は年